

暮らしを支える自治会・町内会

全世帯を加入対象とする自治会・町内会（以下、自治会等）の活動内容や役割、必要性を改めて聞かれると、案外困るのではないのでしょうか。ここでは自治会等の基本的なことからについて見てみましょう。

自治会等とはどんな組織？

自治会等は、20世紀初頭から組織された地縁に基づく団体で、主に一定の区域ごとにつくられています。自分の住む地域を自分たちでより住みやすいまちにするために、地域に住んでいる人たちが自主的に運営しています。地域全体のために公益性のある活動を行っており、公共的性格が強いことから、選挙活動や宗教活動に関わることは好ましくありません。地域をよくするために、政治への関心を高めることは大切ですが、特定の候補者を推薦するなど、地域ぐるみで選挙に関わることは避けましょう。

地域には子どもから高齢者までの幅広い世代、昔からの住民、転入者などさまざまな人が住んでおり、生活スタイルや価値観は多様です。せっかく縁あって住む地域が、全ての住民にとって安全・安心で住みよい場であることが望まれます。とりわけ高齢者が安心して住み続けることができ、子どもたちが心豊かに育つ場であってほしいと、多くの人が願うのではないのでしょうか。そのような地域にするため、みんなで協力して活動する組織、それが自治会等です。

どんな活動をしているの？

自治会等により活動の内容はさまざまですが、大きくは次のような活動をしています。

◆「親睦・交流」活動

住民が楽しみながら親睦を深めたり、近隣の自治会等と合同で実施する行事等を通して、住民同士のつながりをつくるための活動です。

◆「文化」活動

お祭りやスポーツといった行事だけでなく、地域ごとに伝わるさまざまな伝統行事を実施したり、歴史や文化についての勉強会を開催するなど、住民の地域への愛着を育み、まちを元気にする活動です。

◆「福祉」活動

隣近所の見守りや声かけ運動、高齢者がつどえるふれあいサロンを開催するなど、住民同士が助け合い、支え合うための活動です。

◆「環境」活動

身近な歩道や公園の一斉清掃、ごみステーションの管理、資源ごみ回収、地域の緑化や花植えなど、きれいなまちにするための活動です。

◆「防犯・防災」活動

防犯パトロールやスクールガードなどの「防犯」、防災訓練や防災教室の実施といった、住民が安全・安心に生活できるようにするための活動です。

※その他、集会施設や地域の街路灯の管理、自治会等への加入促進や活動の普及啓発など、それぞれの実情に合わせて取り組んでいます。

ますます重要になる自治会等の役割

阪神淡路大震災、東日本大震災などの災害を経験し、私たちは人と人とのつながりの重要性を再認識しました。災害時に行政等の支援のみに依存せず、多くの人が近隣の人々の協力によって救出されました。日頃からの地域活動が活発な地域ほど救出率が高かったといわれています。

人と人との絆は一朝一夕にできるものではなく、普段の付き合いの中で育まれるものです。自治会等では、いざという時に助け合えるように、日頃からの活動を通じて地域の人と人とのつながりを大切にしています。自治会等の役割をできるだけ多くの方に理解していただき、加入を促したいものです。私たちのまわりを見ると、一人暮らしの高齢者や、悩みながら子育てをする親など、個人や家族だけでは解決できない問題がますます増えています。

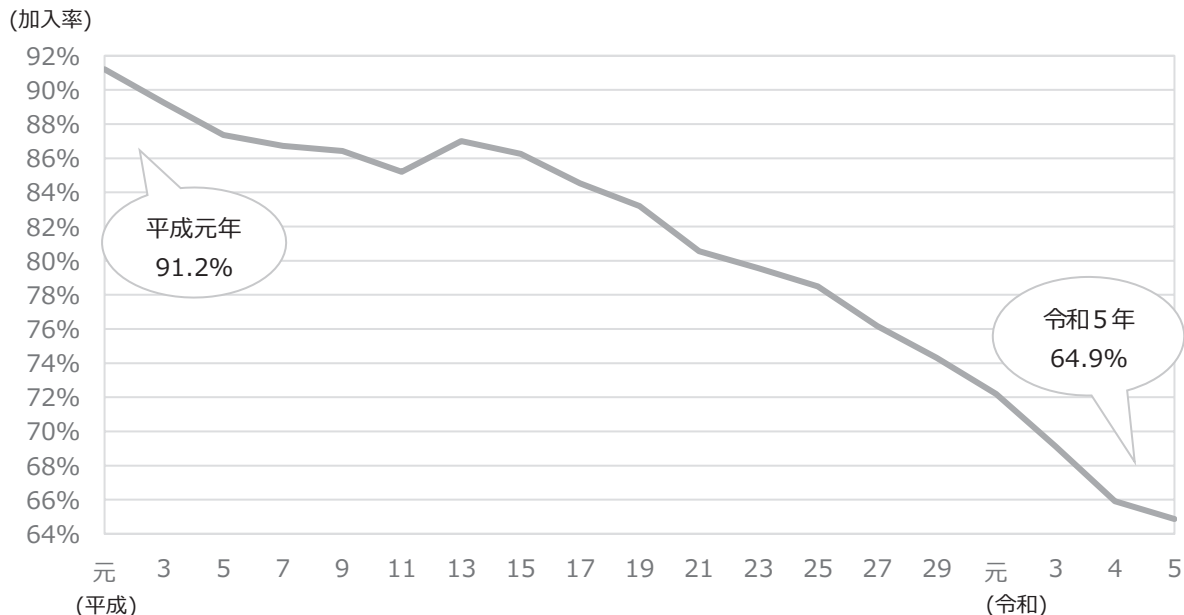
このような時代だからこそ、住民の最も身近な組織である自治会等の役割が重要になってきているのです。

明石市の自治会等

自治会等の数	475団体
平均世帯数（1自治会あたり）	約186世帯
最小世帯数	3世帯
最大世帯数	2206世帯
自治会加入率	約65%

※データはいずれも令和5年4月現在

自治会加入率の推移



※自治会加入率は、平成元年には91.2%ありましたが、徐々に低下しています。その原因として、「住民の価値観の多様化」や「ワンルームマンションをはじめとする共同住宅の増加」などが考えられています。より良い地域づくりを進めるためにも、加入率のアップが望まれます。